

2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（ なかよしクラブ ）

【名 前】（ 宮本 喜代枝 ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童保育では、どんな状況においてもいつでも子どもたちの事故は起きうると考え、常に子どもたちの安全を確保できるように心がけなければいけない。

子どもは怪我がつきものというような考え方は決してもってはいけない。

しかし、どんなに怪我をしないように指導員が注意をしても怪我をする場面がある。今回のように公園で鬼ごっこでの正面衝突という事故は、指導員が見守っていても起きてしまった。だからといって子どもたちから鬼ごっこや走ること等、全てを禁止することは解決にはならないと感じた。

子どもたちと一緒に危険のないように公園、室内、遊ぶ場所によってルールを決めて安全な遊び方を考えていきたいと思った。あとから「あのとき注意するべきだった。先に言うべきだった。」と後悔しないように子どもたちと接していきたい。そのためには指導員である私は常に危険意識をもって、危険だと感じたらその都度声掛けや注意をして、必要があれば中止させる判断力を身に着け、保育に関わっていきたいと思った。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、12月3日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。